

感染症対策の市民意識調査結果

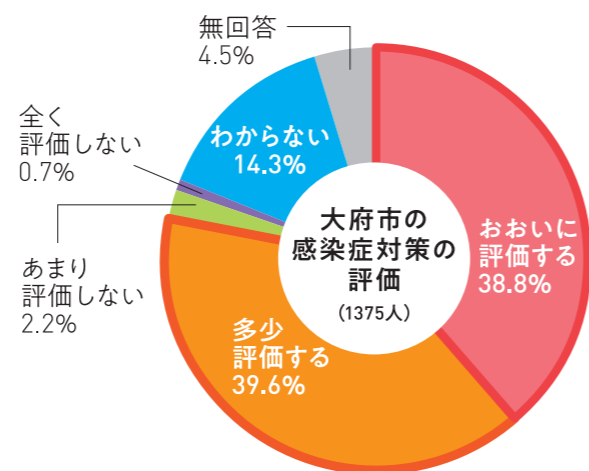
令和2年度

【調査対象】18歳以上の無作為抽出市民3000人

【調査期間】令和2年8月4日～9月4日

市の感染症対策で特に評価するもの

順位	感染症対策の名称
1	特別定額給付金(1人10万円)の早期給付
2	水道料金基本料金(4か月分)の無償化
3	(株)スギ薬局と連携した市民向けの不織布マスクのあっせん販売
4	小中学校の給食費(3か月分)の無償化
5	市長はじめ特別職の給与などの減額
6	中小企業など事業者に対する助成・補助金
7	大府市臨時特別出産祝金の独自給付
8	内定取消しとなった新卒者の職員募集



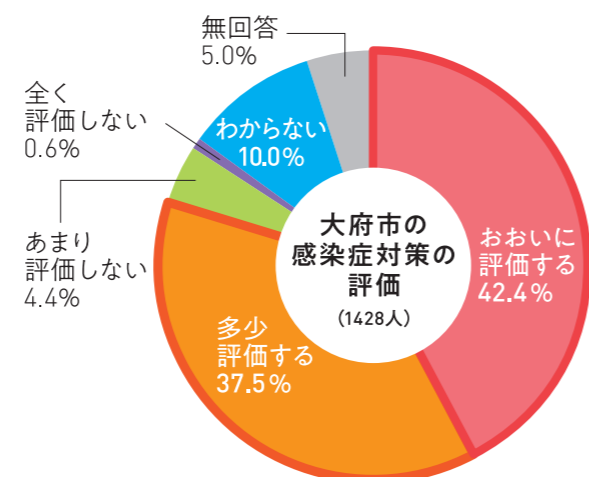
令和4年度

【調査対象】18歳以上の無作為抽出市民3000人

【調査期間】令和4年8月3日～9月5日

市の感染症対策で特に評価するもの

順位	感染症対策の名称
1	特別定額給付金(1人10万円)の早期給付
2	おおぶ元気商品券(1人1万円分)の発行
3	水道料金基本料金(6か月分)の無償化
4	ワクチン接種機会の確保(集団接種、個別接種、職域接種など)
5	国の子育て世帯への臨時特別給付金(子ども1人10万円)の早期給付
6	ワクチン接種状況、接種スケジュールの見える化(情報発信)
7	大府市子どものための臨時特別給付金の独自給付
8	小中学校の給食費(3か月分)の無償化



※集計結果は小数点第二位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。



大府市新型コロナウイルス感染症対策記録誌 概要版

No Rain, No Rainbow とは

「No Rain, No Rainbow」は、雨が降らなければ虹は出ない、雨という試練があってこそ、美しい虹を見ることができるという意味のことわざです。このタイトルには、市民の皆様と共に新型コロナウイルス感染拡大という試練を乗り越え、新たな時代を築いていく決意を込めています。



〒474-8701 愛知県大府市中央町五丁目 70 番地

代表電話：0562-47-2111

Instagram: @obu_city_official Twitter: obu_city

発行：令和5年3月

愛知県大府市

事業者の支援

大府市中小企業 緊急雇用安定 補助金の交付

地域の雇用を支える中小企業を支援するため、国の雇用調整助成金などに独自で上乗せを行う「大府市中小企業緊急雇用安定補助金」を創設。また、助成金の相談や申請書類の作成などを社会保険労務士に依頼する経費を補助する「大府市雇用調整助成金申請等手数料補助金」により、事業者の負担軽減にも配慮しました。

大府市直売所等応援補助金の交付と物価高騰対策

あいち知多農業協同組合と連携し、国の支援を確実に受けられるよう伴走支援を強化。市内のぶどう、梨などの直売所の顧客の減少が危惧されたため、市は、直売所を開設する農業者に消毒液やシート、空気循環機などの購入費などを補助する「大府市直売所等応援補助金」を創設し、安心して来店できる直売所の環境整備を支援しました。また、令和4年から物価が高騰したため、ダンボール・梱包材などの出荷用資材、畜産用の配合飼料、肥料、施設園芸用の燃油の補助を開始し、農業者の支援を強化しました。

理美容業など 様々な業種への 休業協力金の交付



愛知県の休業協力要請に応じた飲食店など、様々な施設の事業者には「愛知県・大府市新型コロナウイルス感染症対策協力金」を交付しました。その対象とならなかった理美容業にも市独自の「大府市理美容事業者休業協力金」を、さらに売上減少などにより業績が悪化した中小企業などのうち国、愛知県の支援制度の対象とならなかった中小企業などにも、経営の維持のため、「大府市中小企業等応援補助金」を交付しました。

おおぶ飲食店応援助成金、 大府市あいスタ認証取得 飲食店応援金の交付

市は、大府商工会議所と連携して、国の持続化給付金や愛知県の協力金を活用できるよう伴走支援を強化。また、市独自の対応として、テイクアウトやデリバリーを行う飲食店などを支援する「おおぶ飲食店応援助成金」、愛知県が実施する感染防止対策の認証制度「ニューあいちスタンダード認証制度（通称あいスタ）」を取得した事業者を支援する「大府市あいスタ認証取得飲食店応援金」を交付しました。

おおぶ元気 商品券の発行



市民生活を経済的に支援するとともに、市内の消費を喚起し、事業者を応援するため、令和2年9月に市民に1人当たり1万円の「市制50周年記念 おおぶ元気商品券」を発行しました。総額10億円規模となったこの事業は、中止・延期を強いられた市制50周年記念事業の予算を積み立てた基金などを財源とし、市民を元気付けるコロナ禍の市制50周年の記念事業としました。事後に行ったアンケートでは、参加事業者の約70%が「売上げに貢献した」と回答し、約90%が「市内の経済活性化のために有効であった」と回答しました。

市民の声



おおぶ元気商品券の食事券、お買物券、コロナ禍で主人の収入が減った時期に本当に助かりました。全部使い切りました。大府に住んでよかったなあと思いました。

事業者の声



コロナ禍でイベントなどがなくなり、弁当注文も減ってしまいました。おおぶ元気商品券のおかげで客足も増えてありがたかったです。

消防本部の対応

市民の生命、財産を守るため消防署内と消防職員の感染対策を強化し、消防・救急体制に万全を期しました。コロナ禍では、従来、保健所の業務とされていた感染者や感染した疑いのある傷病者の移送を消防本部が協力して担うこととなり、消防職員は多くの感染者を移送し、市民の安心安全と業務がひっ迫する保健所の負担軽減に大きな役割を果たしました。



ワクチンの接種

国は、ワクチン接種を感染症対策の重要な柱とし、令和2年12月に自治体向けの第1回説明会を開催。市は、岡村市長の「接種開始までの時間がない中、多くの事務があり全庁的な取組が必要であるため、対策チームを設置し、スピード感を持って対応する」という指示のもと、令和3年1月に「新型コロナワクチン対策チーム」を設置。市医師団をはじめ、国立長寿医療研究センター、あいち小児保健医療総合センター、藤田医科大学病院などの医療機関、市内事業者など、多くの関係機関の協力を得て、市民の接種機会を確保しました。



文化芸術・スポーツ活動は、国の自粛要請などで予定どおりイベントを開催することが困難となり、日頃の活動や発表の場が減少しました。

文化芸術分野では、創作活動の発表の機会を確保するため、オンラインの動画配信チャンネルを開設するなど、様々な支援を行いました。一方、コロナ禍で途絶えた活動やイベントの再開は、容易ではなく、子ども落語教室「大府の笑学校」や「大府子ども歌舞伎教室」などの実施に向け、繰り返し実行委員会などと話し合いながら、支援を行い、徐々に活動を再開しました。

文化芸術・ スポーツ活動 の支援



スポーツ分野では、令和2年7、8月に東京2020オリンピック・パラリンピックの開催が予定されており、共和駅周辺の住民有志らと聖火リレーの準備を進めていましたが、開催直前の令和2年3月24日に大会の1年延期が決定、関連事業の中止・延期と翌年の実施に向けた対応が必要になりました。令和3年4月に1年越しとなる聖火リレーをスタート。聖火は沿道を訪れた多くの人に見守られながら、10名のランナーによってつなぐれ、金メダルのまちの取組を支え続けた住民有志が待つゴール地点の共和駅西口ロータリーに無事にたどり着きました。1年越しで開催されたオリンピックでは、市ゆかりの選手が活躍し、市民の明るい希望となりました。

